

## ベルマーク新聞 8月号

発行 公益財団法人ベルマーク教育助成財団 東京都中央区築地5-4-18 汐留イーストサイドビル7階 〒104-0045 電話 03-5148-7255(代表)  
郵便振替口座 00100-7-56035 ホームページ http://www.bellmark.or.jp/

## 雨の中、感謝を胸にひたむきにプレー

## 小学生のスナッグゴルフ全国大会



①大きな拍手で大会を締めくくった後、全員で記念撮影 ②小田プロの前に選手宣誓 ③優勝した東広島市立西条小学校は、この日招かれたスナッグゴルフの開発者、テリー・アントンさんと記念撮影 ④昼食のカレーライスを選手たちに手渡す地元ボランティアの人たち ⑤水たまりのある芝でのショット ⑥慎重にボールを置いてのプレー

一般社団法人日本ゴルフツアー機構(JGTO)主催の「第17回スナッグゴルフ対抗戦JGTOカップ全国大会」が7月14日、福島県西郷村のグランディ那須白河ゴルフクラブで開かれ、予選を勝ち抜いたチームや昨年の上位校、震災復興支援校など33小学校174人がひたむきなプレーを貫きました。

「スナッグ」はStarting New At Golf(ゴルフを始めるために)の頭文字。ゴルフを気軽に体験してもらおうと開発された種目です。「SNAG=くつつく」の言葉通り、マジックテープで加工した旗の土台にボールが付くと、ホールアウトならぬ「スナッグアウト」となります。用具はベルマーク預金でも買えます。災害復

興支援としてここ4年間は福島県で大会が開かれています。

当日は朝から本降りの雨。開会式は屋内会場に変更され、小田孔明選手ら6人のプロによる「ドリームチーム」との交流ゲームが先に行われました。フラフープくぐり、おしり風船割りなど7種目でくじで選ばれた出場校と対戦。お互いが一切手を抜かない好勝負を展開しました。その後、JA福島中央会提供の会津産コシヒカリを使ったカレーライスで昼食。西郷村からもポテトまんじゅうがふるまわれました。

昼食後、雨中のゴルフ場で試合が始まりました。全参加選手が48組に分かれてコースを回り、各チーム上位3人の

合計スコアで順位を競います。

運動靴の中にまで水が入ってくる中、選手たちは落ち着いたプレーを見せました。濡れたグリップをタオルで拭き、「打ちます」と宣言してスイング。グリーン上では真剣な眼差しで旗までの距離を測ります。開始から1時間半後、ようやく雨が上がり、コースにトンボが舞い始めました。試合を終えた選手たちは口々に「楽しかった!」と話しました。

結果は、8年連続出場の東広島市立西条小学校(広島県)が3人合計78ストロークで初優勝。徳永友美監督は今年が最後とのことで「子どもたちが最高のプレーをしてくれて本当にうれしく思います」と涙で言葉を詰まらせました。2

位は常陸大宮市立大宮小学校、3位は笠間市立岩間第三小学校(ともに茨城県)でした。プロのドリームチームは貫禄の71ストロークでした。

表彰式では西郷村立熊倉小学校6年の知々田(ちちだ)奈津さんが「大会を応援してくれている皆さん、東日本大震災からの復興のため、福島県を応援してくれている皆さんに、感謝の気持ちでいっぱいです」と、お礼を述べました。

選手のみなさん、  
おつかれさまでした!



## 一輪車講習会、岐阜・恵那でスタート

## 今年度のへき地校支援

岐阜県恵那市立串原小学校(松野光宏校長)で7月16日、ベルマーク財団がへき地校支援のため実施する一輪車講習会が開かれました。2019年度は5県6校で開く予定で、その最初の回です。

串原小は明治6(1873)年創立。140年以上の歴史がありますが、いまの児童数は31人。地元で伝わる歌舞伎の上演やコンニャクイモの栽培、ホテルの飼育・放流、ササユリの保護・観察など地域の文化や自然に根差した特色ある活動に取り組んでいます。一輪車は、地域の合同運動会で全校児童が演技を披露するそうで、今年もそれに向けて練習を続けています。

講師は日本一輪車協会の公認インストラクター、鈴木奈菜さんと須郷真弥さん。練習に入る前に、サドルの高さやペダルを踏む足の位置の調整について注意。「簡単

に乗れると思わないで。私たちが何百回、何千回も失敗して今日があります」と励ましました。

最近乗れるようになったという1年生の石原陽向(ひなた)くんは、スラロームに成功。「難しかったけれど、できてよかった」とうれしそう。2年生の大島舞さんは3人で手をつなぎ丸く回った後、3秒停止する技に挑戦。「運動会に向けて力を合わせて練習したいです」

指導の最後にはループトンネルという演技に取り組みました。全員が一列になって走りながら、先頭の2人が腕を上げて輪を作り、その中を最後尾の人から順にくぐり抜けていく大技です。講師のアドバイスを受けながら、何度も挑戦していました。

松野校長は「自己流で練習してきたので大いに刺激になりました。ありがたいです」と話していました。



最後に講師と一緒に記念撮影  
(後列左端が鈴木奈菜さん、右端が須郷真弥さん)

# 集計キットで時間短縮と負担軽減

## 50万点達成の熊本大附属小

ある日、こんな電話がかかってきました。「大台達成校のアンケートがきましたが、いっぱい工夫したので、資料を送ってもいいでしょうか？」

4月に累計50万点を達成した熊本大学教育学部附属小学校(井福裕俊校長、児童645人)からでした。数日後、PTA環境委員長の深水陽子さんからのお手紙が財団に届きました。



同小学校の仕分け・集計作業で活躍したのが、オリジナルの「集計キット」だそうです。昨年度の環境委員長が考案し、委員全員用に18個を作成しました。

透明ケースの中に、マークを入れるためのジッパー付き透明袋と、点数を記入する明細カードが、すべてのベルマーク番号分だけ入っています。明細カードの表は整理袋と同じ体裁で、裏には分かり易いようベルマーク一覧表の該当会社の部分が貼ってあります。カードはラミネート加工してあり、記入する際は油性ペ

ンを使います。後でアルコールティッシュなどで拭けば文字が消えるので繰り返し使えます。

このキットを使って自宅で作業し、全体作業の際に持ち寄りました。インク・トナーのカートリッジの箱詰め作業などもありましたが、マークの集計は明細カードを合算するだけでよく、前年までと比べ、大幅な時間短縮になりました。

「以前は委員長が後で1人でやっていた送り状記入や発送作業も、作業時間内に終わることができました。集計から発送までの流れを知ることができて意欲向上につながりました」と深水さんは振り返ります。「これからも収集の周知を図り、委員の負担を軽減しながら、100万点を目指して頑張りたいです」



# 株式会社種清がベルマーク付き商品を紹介

創業100年を超える菓子卸売業の株式会社種清(本社・愛知県名古屋市)が7月9日と10日に開催した2019年秋季見本展示会で、ベルマーク付き商品を紹介するコーナーを設けました。

同社は「Legitimate Ethical～地域・社会への貢献～」を掲げ、社会貢献活動に取り組んでいます。Legitimateは直訳すると、「正当な」という意味です。Ethicalは、「社会や環境への配慮」といった意味合いを持ちます。

ブースには、ベルマークの大きなパネルが飾られたほか、ポスターも掲示され、マーク付き商品の一例も並びました。

同社の取引先は主要なメーカーだけでも100社近くに上ります。その中には、岩塚製菓(ベルマーク番号16)、明治(同25)、森永製菓(同26)、ブルボン(同48)、ロッテ(同57)、湖池屋(同77)といった、ベルマークを商品につけている協賛会社もあります。



# 本の帯創作コンクール 作品募集、9/3消印有効

児童向けの本に巻かれる「帯」を、小学生が自由にデザインする第15回大阪子ども「本の帯創作コンクール」(大阪読書推進会、朝日新聞大阪本社主催)が実施されています。作品は全国から募集中で、各賞の中にはベルマーク賞もあります。

締切は9月3日、消印有効。募集要項は大阪府書店商業組合のHP(www.osaka-books.ne.jp)でご覧になれます。同組合加盟の約230書店はベルマーク収集に協力しています。



# 東芝ライフスタイルの 新商品が登場

協賛会社の東芝ライフスタイル(ベルマーク番号43)が「センサー付きLEDランタン」を発売。人感・明暗センサー搭載で、暗い場所で人の動きを感知してパッと点灯するランタンです。

単3乾電池3本で使えて、持ち運びラクラクなのに、約200ルーメンという明るさ。防水性能(JIS IPX4)付きなので、雨でも使えますよ!

▽LKL-3000(W) 24点(オープン価格)



# マルトモがベルマーク商品を変更

協賛会社のマルトモ(ベルマーク番号64)は、新たに以下の商品にベルマークを付けることになりました。8月以降、順次パッケージを変更していきます。商品名、標準小売価格(税抜)、ベルマーク点数の順にご紹介します。

- かつおソフト削り 2g×6P 170円 1.7点
- 食べるにぼし 50g 300円 3点
- 国産野菜のブイヨン 4g×8袋 145円 1.5点
- かつお粉 35g 170円 1.8点

現在ベルマークが付いている商品からは、今年度内にマークが外れ、同社のマーク付き商品は上記だけになる予定です。

# ウェブベルマーク協会から助成金

一般社団法人ウェブベルマーク協会(www.webbellmark.jp/)は6月締め助成金9,074,148円を8月1日、ベルマーク財団に振り込みました。うち東北被災校支援が6,910,859円、各学校のベルマーク預金への加算は2,069,703円でした。

数か月前、財団に100万円の現金を寄付してくれた方がいます。振込のしぼらく後に、ベルマークが入った封筒も送られてきました。いずれも住所・氏名・電話番号は書かれていましたが、心当たりのある職員はいません。一体、誰なのでしょう。寄付を求めているところはたくさんあるのに、どうして財団を選んでくれたのか、どんな思い入れがベルマークにあるのか……。

「まだ貯めてたの!」「貯めてたよ」。母娘でそんな会話を交わしました。今回送られてきたベルマークは、そのときのものでした。「大きくなってからも集めていたほどベルマークが好きだったのね」

「尾木先生みたいな、教育熱心で授業の上手な先生に勉強を習ってみたかったなあ」「会ってみたかったなあ」。娘さんは、よくそんなことを言っていたそうです。理事への就任を新聞で知った際には「あの先生やったら、ええわあ」と話したといいます。

電話をかけてみました。応対に出てくれたのは、ハキハキとした関西弁を話す女性。

「直接お会いしてお礼を伝えたいのですが……」と言うと、ご自宅にお招きいただけることになりました。

「とても優しい子だった」と女性は振り返ります。親思いで、「将来、面倒をみなきやいけないから」と縁談を断り、「お金が残ったら寄付したいね」とよく話していたそうです。

住宅街の一角にある普通の家です。玄関のチャイムを鳴らすと、ゆっくりとドアが開き、小柄な女性が出迎えてくれました。お年をうかがうと、84歳とのこと。人生の先輩を前に、とても緊張しましたが、「遠くからよういらっしゃいました」とコーヒを入れてくださいました。それで少し気持ちが落ち着きました。「娘も主人も亡くなってね」。女性は語り始めました。

「まだ貯めてたの!」「貯めてたよ」。母娘でそんな会話を交わしました。今回送られてきたベルマークは、そのときのものでした。「大きくなってからも集めていたほどベルマークが好きだったのね」

「私も、もういつ死ぬかわからないから。娘も喜んでいると思います」。どうもありがとうございます。大切な財産を他人(ひと)のために寄付したいと考えていた娘さんの志を、女性は大切に、行動に移しました。

## 100万円を寄付のある女性と娘さんのおはなし

by ねろり

# 釜石・甲子小から東広島・小谷小へマーク寄贈

## あおいニッセイ同和損保が架け橋に

岩手県釜石市立甲子(かっし)小学校(菅原正樹校長、児童260人)が、全校で集めたベルマークを、協賛会社のあおいニッセイ同和損害保険(ベルマーク番号92)を通して西日本豪雨の被災地、広島県東広島市立小谷(こだに)小学校(北村由美子校長、児童254人)に贈りました。両校間の距離は1200キロメートル超。架け橋となったのは、同社の支店や支社に勤務する社員たちでした。

甲子小の菅原校長によると、8年前の東日本大震災で同校は津波の被害こそなかったものの、自衛隊災害派遣部隊の基地や避難所として使われました。沿岸部から近くに寄り住んで同校に通う児童もいるそうです。

昨年6月、同校はあおいニッセイ同和損保からマークを寄贈され、一輪車などを買いました。これをきっかけに、菅原校長は、ベルマークを集めて同社に届けば、被災地の学校の支援に使われると知りました。環境福祉委員会の児童たちがベルマーク収集を全校に呼びか

け、4428.9点が集まりました。点数は児童と先生と一緒に数えました。

委員長の新保谷夏帆(しんぼや・かほ)さんと副委員長の島尻蒼也(しまじり・そうや)くんの6年生2人が今年2月、同社釜石支社に「被災地のために役立ててください」とマークを預けました。

釜石支社を管轄する岩手支店の当時の支店長は、預かったマークを被災校に直接寄贈することを本社に提案しました。



釜石支社にマークを持参した甲子小の島尻蒼也くんと新保谷夏帆さん。2人は今春卒業しました

マークの寄贈が子どもたちにとっても喜ばれることを実感していたからです。ベルマークが被災地同士の学校の架け橋になれば、との思いもありました。

その結果、西日本豪雨の被災地の一つ東広島市の小谷小が寄贈先に選ばれました。昨年の豪雨で近くの入野川があふれ、校庭が水浸しになり、通学路の崖が崩れて通行止めになったり、土砂が児童の家の中にまで入ったりするなどの被害があ



マークを受け取った、左から小谷小児童会副会長の横見友恵香さん、会長の寺川嬉多(うた)さん、福田彩月(さつき)さん

ったそうです。

6月25日、丸子圭一東広島支社長と広島支店業務推進スタッフの丸子恵さんが同校を訪れ、甲子小から預かったマークを贈呈しました。同小児童会の6年生3人が代表で受け取り、副会長の横見友恵香(ゆめか)さんが感謝の言葉を述べました。

「遠い岩手県の皆さんが、心配してくださっていることを知り、大変うれしかったです。いただいたベルマークは大切にに使わせていただきます」

小谷小の感謝の言葉が書かれた紙は額装され、「感謝状」として同社の手で岩手に送られ、7月に甲子小の環境福祉委員会の児童たちに手渡されました。「マークが、一つの学校に贈られたと知り、子どもたちはびっくりしていました」と菅原校長。マークを届けた6年生は春に卒業しましたが、環境委員の後輩たちは「また違う学校にマークを届け、役に立てるように、今後も活動していきたい」と話しているそうです。

# 18万点を栃木の大谷東小に寄贈

## あおいニッセイ同和損保、全国14校に予定

あおいニッセイ同和損保は、栃木県小山市立大谷東小学校(上野直哲校長、児童913人)に180,032点のマークを寄贈しました。寄贈式が7月30日に行われ、目録、横断旗14本、反射材20枚、タフイー&ハッピー(同社のマスコットキャラクター)の絵本が手渡されました。

冒頭の挨拶で、南波靖一郎・同社栃木支店長は「日頃から地域社会に貢献できるよう、社員全員で取り組んでいます。『ベルマークサポーター』の皆さんのご協力を得て、昨年は200万点を集めました」と述べました。これに対し、上野校長は「913名の児童たちが笑顔になるように、希望を持って未来に進んでいけるように、大切にに使わせていただきます」と感謝の気持ちを伝えました。

東日本大震災後、同社はマークを収集・仕分けして寄贈することに力を入れています。これまで累計1800万点を集め、190校に寄贈してきました。今年度は大谷東小を含め、計14校にマークが寄贈される予定です。

同社には、法人企業向けの「地域AD倶楽部」という仕組みがあります。情報提供・企業交流・地域貢献という3つの柱で「地域企業」や「地方創生」を応援するもので、セミナーの開催や、企業交流会の場の提供など、様々な活動を行っています。ベルマーク運動はその中の「地域貢献」のひとつと位置付けられ、運動の趣旨に賛同してくれる「ベルマークサポーター」を募集しています。その数は5000社・団体を超え、現在も増え続けています。



南波靖一郎・同社栃木支店長(左)と上野直哲校長

# NGPが「SDGs宣言」

## 瀬戸内・豊島の再生へオリーブ基金に寄付

協賛会社のNGP日本自動車リサイクル事業協同組合(ベルマーク番号76)は7月23日、記者会見を開き、国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」を推進する活動をスタートさせる、と発表しました。その一環として、NPO法人瀬戸内オリーブ基金を通じて瀬戸内海の豊島の環境再生に取り組むことにし、同基金に寄付金が手渡されました。

豊島は1990年代までに大量の産業廃棄物が持ち込まれ、大きな社会事件になりました。廃棄物の中で最も多

かったのが使用済み自動車の破砕くず(シュレッダーダスト)。島は今も地下水の浄化作業が続けられ、また新たな廃棄物もみつかっています。佐藤幸雄 NGP 理事長は「自動車リサイクル法ができたのも豊島事件がきっかけ。再生に少しでも貢献することが我々自動車リサイクル事業者の使命だと思った」と話しました。

NGPは今回、従来からの活動もSDGsに沿った形で整理し、ベルマーク運動への参加は「質の高い教育をみんなに」という目標として位置づけられました。



記者会見場で寄付金を手渡すNGPの佐藤幸雄理事長(左)と受け取る瀬戸内オリーブ基金の岩城裕理事長

# 大台達成校

7月	愛知県豊橋市	6,021,072	三河台小	福島市	3,056,530	玉川小	滋賀県草津市	2,060,238	中根小	東京都目黒区	1,006,453
新川小	愛知県豊橋市	6,021,072	土気小	千葉市緑区	3,019,836	桜井谷東小	大阪府豊中市	2,035,040	第二小	東京都東大和市	1,016,322
原小	横浜市瀬谷区	5,091,647	三和小	金沢市	3,020,630	添田小	福岡県添田町	2,024,518	南小	神奈川県秦野市	1,018,953
喜々津小	長崎県諫早市	5,002,709	長岡第五小	京都府長岡京市	3,024,217	穴生小	北九州市八幡西区	2,030,653	東山保育園	富山市	1,008,884
北網島小	横浜市港北区	4,058,666	大島小	兵庫県尼崎市	3,008,752	春日南小	福岡県春日市	2,003,627	新津小	浜松市南区	1,023,032
山室中部小	富山市	4,001,659	昭和小	香川県綾川町	3,003,054	ひなづる幼稚園	青森県鶴田町	1,012,742	鳥取中	大阪府阪南市	1,004,899
尾鷲小	三重県尾鷲市	4,023,732	早岐小	長崎県佐世保市	3,012,587	伊里前小	宮城県南三陸町	1,027,692	長尾南小	兵庫県宝塚市	1,005,104
尾鷲中	三重県尾鷲市	4,008,513	丘珠小	札幌市東区	2,002,959	栗生小	仙台市青葉区	1,048,686	中島幼稚園	岡山県倉敷市	1,002,372
西北小	長崎市	4,019,112	白山台小	青森県八戸市	2,019,250	同朋幼稚園	福島県二本松市	1,037,369	太宰府南小	福岡県太宰府市	1,000,643
磐崎小	福島県いわき市	3,023,884	あずま北小	群馬県伊勢崎市	2,017,628	成東小	千葉県山武市	1,002,310			



